

こんな夢を見た



こんな夢を見た

一つの明るい部屋

細長い部屋の突き当たり到一个の窓

窓の外で一枚の黄色い布が風に揺れる

外は明るい

壁面に黒板

教室？

部屋の中で、ゆっくりと回転する機械装置

円柱状の回転台

台上には一台のビデオカメラが取り付けられ、壁面を見回すように回転している

黒板に向き合った壁面に一枚のモノクロ写真

部屋の窓

窓に掛けられた一枚の布

黒板には何が描かれていた？



インスタレーションは複数の時間を畳み込んだ表現形式である。一方に音楽や映画、物語といった時間的な表現があり、もう片方に彫刻や絵画、インスタレーションといった空間表現があるのである。時間の流れと共に、観客の内に生成される時間的な表現。それらは様々な時間軸を持つ。インスタレーションは、それを体験する者の、予想（プロスペクト）と回想（レトロスペクト）によって織りなされ、時間の流れは、見る、歩くといった身体動作、行為によってあなたに委ねられる。それは一つの夢の舞台、少し練習を重ねれば、ある程度自由にあなたの位置をコントロールできる、そんな夢にも似ている。



こんな夢を見た

一つの暗い部屋

部屋の中に据え付けられた円柱状の機械装置

台上の一台のビデオプロジェクターが、細長い部屋の壁面に窓の映像を投影している

窓の外で一枚の黄色い布が風に揺れる

外は明るい

壁面に黒板

教室？

機械装置がゆっくり回転し始める

窓が動き始める

部屋の壁に、別の部屋が映し出される

黒板に向き合った壁面に一枚のモノクロ写真

部屋の窓

窓枠に掛けられた一枚の布

黒板に描かれていく二重螺旋

◆◆

インスタレーションは複数の空間を代み込んだ表現形式である。一方に音楽や映画、物語といった時間的な表現があり、もう片方に彫刻や絵画、インスタレーションといった空間表現があるのである。観客の内生成される多層的な空間表現。それらは様々な空間を持つ。インスタレーションは、それを体験する者の、見る、歩くといった身体動作、行為によって次第に空間が生み出され、具体的な空間に想起の空間が重なる。それは、一つの白日夢、現実の空間への夢の侵入に似ている。

◆

こんな夢を見た

二つの部屋

一つは明るく、一つは暗い

似通った二つの部屋で、静かな機械音をたて、二つの回転台が回っている

細長い部屋の突き当たり到一个の窓、一枚の黄色い布が風に揺れる

外は明るい

二つの部屋が重なり始める

わたしは、どちらの部屋にもいない



夢は語りとともに失われる。自分の見た夢を誰かに語る時、幾つかの夢の破片は、闇の中に沈んでいく。けれど夢は語りとともに生まれもする。一人の中で失われた夢の破片が、夢を聞く人の中で成長しはじめる。

こんな夢を見た。「30分間の沈黙」と題された展覧会。廃校になった小学校の幾つかの教室に、数人の作家やグループが作品を設置していた。その中に、似通った細長い二つの部屋があった。